

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情5第38号	受理年月日	令和5年11月8日
件 名	緑が丘児童館・学童保育クラブ民営化計画の見直しに関する陳情		
<p>【陳情の趣旨】</p> <p>緑が丘児童館・学童保育クラブの民営化に関し、2度目の陳情を申し上げます。前回は、令和3年6月8日に、説明会や中高生の児童館利用者アンケートの実施を求める陳情書を提出し、審議は4度にわたりました。結果は、残念ながら不採択となりましたが、放課後子ども対策課及び子育て支援課による説明会や中高生への児童館利用者アンケートを行っていただきました。お忙しい中でのご対応に心より感謝申し上げます。</p> <p>前回の陳情から2年以上が経ち、その間には民営児童館の利用者から木工工作の機会が減ってしまったなど残念に感じる話を聞くこともありました。今夏には区内私立認可保育園による運営費不正受給というニュースも耳にしました。説明会で伺った通りに引継ぎや管理ができているのか、民営化後に問題が起こったかどうかに対応していただけるのか、新たな不安を感じています。</p> <p>つきましては、以下の理由により民営化計画の見直しを陳情いたします。</p> <p><緑が丘児童館・学童保育クラブ民営化計画の見直しを求める理由></p> <p>1 民営事業者による問題や引継ぎの不備がある場合の対応の明確化</p> <p>8月4日付の目黒区報道資料によりますと、区内の私立認可保育園「ピュアリー目黒南保育園」で、保育士数水増しによる運営費の不正受給がありました。背景には保育士の不足があったようです。</p> <p>また、今年度民営化されたひもんや学童保育クラブでは、引継ぎのための時間が予定通りに確保されていなかったと聞いています。令和元年度に民営化された不動児童館学童保育クラブでは、委託化わずか数年後に副施設長・主任候補、児童指導員が同時に事業者ホームページで募集されていたという事実もあります。説明会では委託化により人材の問題などの課題に対応するということでしたが、民営事業者でも職員の確保は難しい状況です。</p> <p>他区でも人材不足は生じており、新宿区では、労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団が受託している児童館・学童・放課後こどもひろばで、人員不足を背景に職員配置人員について区への虚偽の記載・報告を行っていたことが判明しました。現在は新宿区より「指名停止措置」を受けており、来年度以降は事業者が変わるそうです。</p> <p>引継ぎが不十分であったり、保育人材不足が生じた場合に影響を受けるのは子どもたちです。大阪府の吹田市では民営化で指導の質が低下し、公営に戻された学童クラブの事例があります。説明会の中でも明確な回答をいただけませんでした。問題があれば速やかに公営に戻す等の対応策がない現状に不安を感じます。民営事業者による問題や引継ぎの不備がある場合の具体策をお示しください。</p>			

2 急激な民営施設増加による西部地区の保育の質の低下への不安

目黒区による「今後の児童館・学童保育クラブのあり方方針」には、公営の児童館の役割として、「民営に対する運営支援体制強化」をあげています。民営化が急激に進んでいる今、公営の役割はますます重要になっています。西部地区は、八雲児童館・学童保育クラブのみが公営で残る計画ですが、一館のみで西部地区全体をどのように支えていくのかの具体的な方針が示されず、管理や指導が行き届かずに保育の質が低下するのではないかと不安です。説明会では区の児童館係が指導しているというお話しでしたが、実際、民営の児童館では、公営児童館で日常的に行われている木工作活動が減り、クラフト（紙工作）が主となっているようです。これは質の低下の一例ではないでしょうか。

また、中高生対応のために民営化されるというご説明でしたが、目黒区の中高生対応館は民営事業者ばかりです。公営児童館の中に一館は中高生館を実施して、目黒全体を支援していく役割のある児童館が必要なのではないのでしょうか。緑が丘児童館は西部地区拠点館として、ひいては目黒全体の拠点館として、移動児童館など今まで緑が丘でしか実施してきていないことを発信し、民営施設の運営支援ができると考えます。公営児童館・学童保育クラブが果たす役割と支援体制をお示してください。

【陳情事項】

地域住民の不安を解消する具体策が示されない現状では、緑が丘児童館・学童保育クラブ民営化計画を見直してください。